

鑑賞だけでは終わらない！ 音楽、本、クリエイターとの出会いが広がる 「TOKYO MIDTOWN DESIGN LIVE 2026」詳細決定！

～ 東京のまんなかでデザインを“みつめる”秋のイベント ～

東京ミッドタウン(港区赤坂 / 事業者代表 三井不動産株式会社)はデザインと触れ合う秋の祭典「TOKYO MIDTOWN DESIGN LIVE 2026(東京ミッドタウン デザインライブ / 以下 DESIGN LIVE 2026)」を 10 月 16 日(金)から 11 月 4 日(水)まで開催いたします。

DESIGN LIVE 2026 は、国内外で活躍するクリエイターの作品が集結する「DESIGN LIVE EXHIBITION」を中心に、一見するとデザインとは直接関係のないような多彩なコンテンツを通して「デザイン」について考え、触れ、楽しむことができるイベントです。芝生で音楽を聴く、本や文具を手にとって選ぶ、クリエイターの思考に触れる、作品のそばでくつろぐといったさまざまな体験を通じて、デザインの魅力に気づくきっかけを提供します。今年 2 回目を迎える DESIGN LIVE 2026 のテーマは「みつめる」。日々多くの情報やイメージに触れる中で、作品や風景をじっくりとみつめ、普段は見過ごしていた発見や想像を楽しむ時間を提案します。東京ミッドタウンを巡りながら、新たな気づきや楽しみに触れる秋のひとつときをお過ごしください。



▲イメージ

「DESIGN LIVE 2026」見どころ

- 芝生で音楽を聴きながら、デザインを楽しむ「DESIGN LIVE MUSIC」
音楽・空間演出・ビジュアルが一体となったライブを開催。
フード&ドリンクとともに、秋の芝生広場でゆったりとした時間を楽しめます。
- 全国の個性豊かな書店や文具店が集う「DESIGN LIVE MARKET by 読の市」
新刊・古本、独立系書店など 38 店舗が集結！
本や文具を手に取りながら、思いがけない一冊や新たな興味との出会いを楽しめます。
- その他、東京ミッドタウンを拠点に多彩な展示が目白押し！
東京ミッドタウンの開放的な空間を活かした企業展示や
「六本木アートナイト 2026」と連携したインスタレーションまで、様々な展示が登場します。

／10月17日(土)・18日(日)開催／

畳野彩加(Homecomings)、スカートらが出演！音楽とグラフィックが交差する
「DESIGN LIVE MUSIC」

週末の芝生広場を彩る「DESIGN LIVE MUSIC」は、川尻竜一や山口 央らデザイナーによるグラフィックを生かした DJ ブースや演奏ブースが登場し、ライブを「聴く」だけでなく、空間を「見る」、写真を「撮る」といった体験へと広がります。音楽アーティストとデザイナー、それぞれの表現が重なり合うことで、五感を通して楽しめる新しいライブ体験をお届けします。

出演は FPM 田中知之、畳野彩加(Homecomings)、澤部 渡(スカート)、沖野修也、森田美勇人らがラインナップ。開放的な芝生広場で、生の音楽とともにゆったりとしたひとときをお過ごしください。



デザインと音楽が
出会う日。

▲参加ミュージシャン・デザイナー

日程:10月17日(土)・18日(日)

時間:12:00～18:00 ※18日は17:00まで

場所:芝生広場、ミッドタウン・ガーデン 料金:入場無料

プログラム(予定): 10月17日(土)

12:00-13:10 DJ 猿
13:20-13:50 青谷明日香
13:50-14:50 ナツ・サマー
15:00-15:50 森田美勇人
15:50-17:00 沖野修也
17:10-18:00 澤部 渡(スカート)

10月18日(日)

12:00-12:30 yoshitaka9
12:30-13:00 青木拓人と笠谷圭見
13:00-13:45 yoshitaka9
14:00-14:50 ハートビートセッション
14:50-16:00 FPM 田中知之
16:10-17:00 畳野彩加(Homecomings)

※雨天時の開催可否、および開催場所等の詳細は、変更する場合がございます。後日、オフィシャルサイトにてご案内いたします。

<ライブの楽しみを彩るフードトラックも登場>

作品鑑賞やライブのお供にフード&ドリンクを楽しめるキッチンカーも登場予定。芝生でくつろぎながら、音楽、デザイン、そして食が重なり合う特別な2日間をお楽しみいただけます。



▲メニュー一例

全国の書店・文具店 38 店舗が集結！新たな気づきや体験が得られるブックマーケット
「DESIGN LIVE MARKET by 読の市」

A photograph showing the backs of two children in the foreground, looking towards a wooden bookshelf filled with various books. The child on the left is wearing a light blue shirt, and the child on the right is wearing a white shirt. The bookshelf has several books standing upright, some with colorful covers. The background is slightly blurred, showing more of the library environment.

子どもだけが買える？！「オヒサマこども書店」	六本木未来会議「デザイン&アートの本棚」 in DESIGN LIVE MARKET
子どもだけでお買い物を楽しめる本屋さんが登場。絵本専門店「ニジノ絵本屋」が選ぶ豊富な絵本の中から、子ども自身が店員と対話しながら一冊を選び、保護者はその選択を見守ります。本を「買い与える」から、子どもの選択を見守る体験へ。家族の新たな一面を発見できる場を届けます。当日は絵本ライブも開催。 絵本ライブ：各日 13:00～13:30 と 15:00～15:30 出演アーティスト：24 日（土）りりいとペチカ 25 日（日）ザ・ワースレス 場所：コートヤード	クリエイターが推薦した「クリエイションのスイッチを押してくれる一冊」を集めた、六本木未来会議「デザイン&アートの本棚」が、デザインライブの会場に登場！来場者は、自分が気に入ったフレーズやページにしおりを使ってコメントを残すことができます。来場者同士で想いをシェアしながら1つの共読本がデザインされていく体験をお楽しみください。 場所：ミッドタウン・ガーデン

A hand is holding a white card against a tree trunk. The card has the text "Design Live" at the top, followed by three heart-shaped icons, and "Aino Surala" at the bottom. The background is a close-up of a tree trunk with rough bark.

3

＼10月24日(土)・25日(日)開催／
一流クリエイターの思考や最新のデザイン潮流などを学べる
「DESIGN LIVE TALK SALON」

第一線で活躍するクリエイターを迎え、デザインに込められた思考や制作のプロセス、これからのデザインのあり方について深く掘り下げる「DESIGN LIVE TALK SALON」を開催します。完成した作品やプロダクトを見るだけでは分からない、クリエイターの発想の源泉や試行錯誤に触れることで、デザインを“見る”だけでなく、その背景にある考え方で知ることができるトークセッションです。デザインについてより深く考え、新たな視点と出会う機会を提供します。

日程: 10月24日(土)・25日(日)

時間: 14:00～19:00 各回 60分+交流会 30分

登壇者: 永井一史、水野 学、田川欣哉、川上典李子、鈴木 元ほか

※敬称略・登壇順に記載

場所: インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター(ミッドタウン・タワー5F)

料金: 入場無料、各回 80名程度

お申し込み: <https://tokyomidtown.peatix.com/events> (9月下旬公開予定)

協力: 21_21 DESIGN SIGHT、公益社団法人 日本グラフィックデザイン協会、
公益財団法人 日本デザイン振興会、一般社団法人 デザインシップほか



▲登壇者(予定)

スペシャルプログラム 養老孟司氏登壇！

「方丈記に学ぶ」10月25日(日)14:00～

場所: カンファレンス Room(ミッドタウン・タワー4F)

「DESIGN LIVE TALK SALON」に、とびきりのスペシャルプログラムが登場します。東京ミッドタウン内の21_21 DESIGN SIGHTで開催中の企画展「方丈記に学ぶー生きるを編み直す小さな建築ー」に伴い、養老孟司氏による講演を開催。本展の構想にもつながった『方丈記』をめぐる養老氏の視点から、現代の暮らしを考えます。本展ディレクターの塚本由晴氏と、同館館長の佐藤 卓氏も登壇予定。



©K.Kurigami

※詳細は、21_21 DESIGN SIGHT ウェブサイト

(<https://www.2121designsight.jp/program/hojoki/events.html>)でご確認ください

デザインを切り口にした企業ブースが登場！「DESIGN LIVE SUPPORTERS」

メーカーやクリエイターが、それぞれの技術やアイデアを通じて DESIGN LIVE 2026 をともに盛り上げる展示企画、「DESIGN LIVE SUPPORTERS」。会場各所で、作品展示や体験型企画、商品提供など、多彩なプログラムを展開します。



■JAPAN FURNITURE SHOW by IFFT 2026

主催: 一般社団法人 日本家具産業振興会

開催2年目となる本イベントは、日本各地の家具ブランドの魅力を再発見し、その可能性を新しい視点で体感できるエキシビションです。ミッドタウン・ガーデンと都内ショールームを舞台に、家具展示や新作発表、トークセッションなど多彩なプログラムを展開し、日本の家具の現在地と未来を多角的に発信します。

開催場所: ミッドタウン・ガーデン 期間: 10月31日(土)～11月3日(火・祝)

CRAFT WONDER



■クラフトワンダー(ビール・ウィスキー)

全国各地の中小酒造とパートナーシップを組み、卓越した技術とこだわりを活かした多彩な酒類を開発するプレミアムアルコールブランド「クラフトワンダー」が、ガレリア B1 に期間限定ショップ(10月2日～10月29日)をオープンします。また、10月24日(土)・25日(日)に開催される DESIGN LIVE TALK SALON では、オフィシャルドリンクとしてもお楽しみいただけます。



■FIAT POP UP

主催:FIAT ジャパン株式会社

フィアットが東京ミッドタウンに登場。車両展示のほか、フォトスポットやノベルティ配布など、イタリアンブランドの世界観をお楽しみいただける POPUP イベントです。

開催場所:アトリウム 期間:10月17日(土)・18日(日)



■うみのハンモック

主催:株式会社ジャクエツ デザイン:永山祐子建築設計

協力:モリタパレル株式会社 / トキ・コーポレーション株式会社

東京ミッドタウンから生まれた「うみのハンモック」。東京日比谷公園、淡路、大阪へ。場所を巡り、人と出会い、それぞれの風景の中で、その姿を少しずつ育ててきました。そして今、ひとつのデザインとして規格化され、ふたたび原点へ。これまでの時間と風景をつなぎながら、新しい「うみのハンモック」が東京ミッドタウンに帰ってきます。

開催場所:ミッドタウン・ガーデン 期間:10月16日(金)~27日(火)



■BTk Metal Garden -with Milano Air-

主催:BASE TIMES kawaguchi

ミラノデザインウィーク 2026 で発表した BASE TIMES kawaguchi(川口の金属加工5社×石田和人)の高度な金属加工技術による作品群が、「BTk Metal Garden」と題してミッドタウンの広場に登場します。高精細な金属に映り込むのは、都心の美しい景色と光。ミラノの空気をまとったアートが魅せる特別な屋外展示です。

開催場所:ミッドタウン・ガーデン 期間:10月16日(金)~27日(火)



■Life Mobile -移動家具ユニットで生まれる新しい暮らし-

主催:株式会社乃村工藝社

日本の人工林の約6割が利用期を迎えるなか、木材活用による森林資源の循環が期待されています。空間プロデュース企業である乃村工藝社は、地域材の活用を探索してきました。木材を用いた「分解・移動可能な家具ユニット」を通じて、都市の狭小空間から気候風土に合った自然の中まで、暮らしの在り方をみつめなおします。

開催場所:ガレリア 3F IDÉE SHOP/IDÉE CAFÉ PARC 前

期間:10月16日(金)~28日(水)

＼東京ミッドタウンから各地を巡った「うみのハンモック」が4年ぶりに凱旋／

開業以来、デザインイベントを開催している東京ミッドタウン。2022年の「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」のメインコンテンツとして初公開された、建築家・永山祐子氏による大型インスタレーション「うみのハンモック」が再び登場します。遠くから眺めると海の波のように連なる本作は、来場者が自由にくつろぎ、遊びながら楽しめる空間を創出。ハンモックとタープには、廃棄された漁網をアップサイクルしたナイロン糸を使用しています。イベントテーマ「環(めぐ)るデザイン」のもと制作された本作は、使用後も再び素材として循環できるよう、可能な限り単一素材で構成されており、海洋ごみを「循環のデザイン」へとつなぐ作品です。今年、遊具メーカージャクエツとの共同事業により製品化され東京ミッドタウンに再び登場します。



▲DESIGN TOUCH 2022 に展示された様子



▲過去の設置の様子

六本木アートナイト 2026 とのコラボ企画！ “みつめる”アート《Camouflage Prints》by 柴田まお

「TOKYO MIDTOWN DESIGN LIVE 2026」の会期中、六本木エリアでは3年ぶりに「六本木アートナイト」がオールナイト復活！コラボ作品として、ミッドタウン・ガーデン入口にアーティスト・柴田まお氏によるアート作品《Camouflage Prints》が登場します。

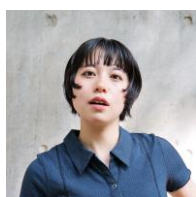
日程：10月16日(金)～11月4日(水)
場所：ミッドタウン・ガーデン



六甲ミーツ・アート芸術散歩 2023 beyond

＜風景に溶け込み、“見る”ことを問いかけるアート＞

葉や雲のように自然界に存在する迷彩構造を取り入れた彫刻が、ミッドタウン・ガーデンの景色に溶け込みながら、見る位置や背景によって異なる姿を見せます。目の前にありながら捉えにくい作品を通じて、普段見慣れた風景を改めてみつめ、存在と不在のあいだを行き来するような感覚を楽しめます。



柴田まお

アーティスト/ TOKYO MIDTOWN AWARD 2021 アートコンペ受賞者

「コミュニケーションの在り方」をテーマに、彫刻にデジタルな表現を付加し、現実と虚像の境目を曖昧にする作品を日本各地で発表。

全体マップ



「TOKYO MIDTOWN DESIGN LIVE 2026」開催概要

「あたりまえの日常が、おもしろくなるデザインイベント。」をスローガンに、身近な暮らしの中にあるデザインの価値や面白さを再発見するイベントです。私たちはデザインを「何かと何かのあいだを、適切につなぐもの」と捉えています。人と人、人と社会、モノと空間など、日常のあらゆる関係性の中に存在するデザインに目を向けることで、新たな視点や気づきをもたらします。展示を中心に、空間や音楽、食、本など多様なコンテンツを通じて、日常を少し豊かに変えるデザイン体験を提供します。

【期 間】 10月16日(金)～11月4日(水)

【場 所】 東京ミッドタウン各所

【主 催】 東京ミッドタウン

※開催概要 <https://www.tokyo-midtown.com/jp/event/8117/>

※イベントの詳細は10月公開予定のオフィシャルサイトをご確認ください

【デザインを発信し続ける街、東京ミッドタウン】

東京ミッドタウンは、開業以来「デザイン＆アート」を街の個性として掲げ、創造性や知的好奇心を育む文化発信拠点として歩んできました。その象徴として、21_21 DESIGN SIGHT や東京ミッドタウン・デザインハブを擁し、デザインの価値や可能性を発信するとともに、次代の才能やアイデアを育む場としての役割を担っています。こうした取り組みの環境として、2007 年から 2024 年まで 17 回にわたり「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」を開催し、多くの来街者にデザインとの出会いを提供してきました。そして 2025 年、その理念を受け継ぎながら、より日常との接点に着目した新しいデザインイベント「TOKYO MIDTOWN DESIGN LIVE」として再始動。街そのものを舞台に、デザインが持つ創造力や発見の楽しさを発信し続けることで、人とデザイン、人と人、街と社会をつなぐきっかけを創出しています。

※掲載写真は過去のイベントの様子及びイメージです。内容は変更になる場合がございます。

※掲載情報は予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※最新の営業情報はオフィシャルサイトをご確認ください。

三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024 年 4 月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY(重点的に取り組む課題)」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】 ・「グループ長期経営方針」 <https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>
・「グループマテリアリティ」 https://www.mitsufudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/
・「& EARTH for Nature」 <https://www.mitsufudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/>

また、2025 年 4 月に、街づくりにおける環境との共生宣言「& EARTH for Nature」を策定し、「環境」を自然と人・地域が一体となったものと捉え、豊かな「環境」を広げ、未来の世代へつなぐ街づくりを推進しています。本宣言における重点課題として、「緑を守り育む」「水の魅力を生かす」「生態系を豊かにする」「地域の想いをつなぐ」「自然資源を循環させる」の 5 つを定めています。本リリースの取り組みは、「& EARTH for Nature」における重点課題の 1 つに貢献しています。



緑を守り育む